

謹賀新年

新しい年を迎え、気持ちも新たに様々な試験研究を進めるとともに、企業の皆様や大学、関係機関の皆様とともに、道内のものづくり産業の一助となるべく取り組んでまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

工業試験場・ものづくり支援センター

- ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ 目次 ☆ ☆ ☆ ☆ ☆
- 【1】移動工業試験場(帯広)を開催します(申込締切1/10)【参加無料】
 - 【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ【参加無料】
 - 【3】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介
 - 【4】室蘭工業大学『MONOづくりみらい共創機構創立記念シンポジウム』のご案内
 - 【5】道総研のご利用に関するアンケートのお願い

【1】移動工業試験場(帯広)を開催します(申込締切1/10)【参加無料】

道総研工業試験場では、道内中小企業の技術力の向上と地域産業の振興発展を図るため、1月12日(金)に十勝産業振興センターにおいて、移動工業試験場を開催します。食品製造業様をはじめ、様々な業種の皆さまの参考となる内容となっています。どうぞお越しください。

- ◆日時：令和6年1月12日(金) 13:30～15:30
- ◆場所：十勝産業振興センター2階大会議室(帯広市西22条北2丁目23-9)
- ◆申込締切：令和6年1月10日
- ◆講演内容：

1. 食品製造業のDXに向けた自動計測技術の開発
産業システム部 情報システムグループ 主査 飯島 俊匡
食品製造業においてDX(デジタルトランスフォーメーション)を推進し、生産性の向上や人手不足に対応するため、原材料の品質検査を自動化する最新技術などを紹介します。

2. ブランドづくりの考え方・進め方
ものづくり支援センター開発推進部 研究主幹 万城目 聡
これからブランドづくりに取り組む方を対象に、ブランドについて知っておいて頂きたい基礎的な知識と商品開発などの参考事例をご紹介します。

※このほか、(一社)北海道発明協会及び(公財)北海道中小企業総合支援センターから事業のご紹介があります。

◆申込みフォーム：<https://forms.gle/feXUFTJc6bfq8P5U9>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://www.hro.or.jp/upload/43838/idoukousi24114.pdf>

【お問い合わせ】
道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター(難波)
Email: iri-shien@ml.hro.or.jp
電話: (011) 747-2354 / FAX: (011) 726-4057

【2】ものづくり関連の各種研修会のお知らせ【参加無料】

道総研産業技術環境研究本部 ものづくり支援センターでは、道内のものづくり企業等を対象に、各種研修会を予定しております。現在、下記研修会の参加を募集しております。皆様のお申し込みをお待ちしております！

データ解析・活用研修(締切2月9日)
◆日時：令和6年2月22日(木) 13:30～16:30
◆方法：オンライン
◆内容：ビッグデータやAIの進展に伴い、データ解析は新たな製品やサービスの創造、業務の効率化をする上で重要になっています。本研修では、データ分析の目的や問題の発見方法を理解し、適用する分析手法を考える演習を実施します。
◆講師：文教大学情報学部 教授 阿部 秀尚 氏
◆申込みフォーム：<https://forms.gle/mCTeEmj4UaLTcZ5w5>

▼詳しい内容はこちらをご参照ください。
<https://hro-cms.com/upload/43900/24detakaiseki222.pdf>

【お問い合わせ先】
道総研 産業技術環境研究本部 ものづくり支援センター(井筒)
電話: (011) 747-2324 / FAX: (011) 726-4057
Email: itou-saya@hro.or.jp

【3】『JKA補助事業による新規導入機器』のご紹介

競輪の補助を受け、次の機器が導入されましたのでご紹介します。

◆事業名：公益財団法人 JKA 2023年度 機械振興補助事業

▼振動試験装置（エミック（株） FX-26/60型）

機能・特徴

- ・試験体（製品や開発品）に対して指定した条件の振動を加える
 - ・輸送時や使用時、地震発生時に受ける振動によって試験体の機能が損なわれない
- ことの確認や、試験体が最も激しく振動する振動数（共振振動数）を確認可能

主な仕様：最大加振力 サイン・ランダム：26.0kN、ショック：57.2kN

振動数範囲：1～2500Hz

最大加速度：1000m/s²

最大変位：60mm

最大搭載質量：400kg

▼JKA補助事業設備紹介

<https://www.hro.or.jp/list/industrial/research/iri/JKA/index.html>

【4】室蘭工業大学『MONOづくりみらい共創機構創立記念シンポジウム』のご案内

室蘭工業大学では、本学が掲げる「北海道MONOづくりビジョン2060」の実現を目指し、社会との共創において、エコシステムの構築を先導する「MONOづくりみらい共創機構」を設置しました。これを記念し、本学の特徴ある社会貢献の新たな進展を目指して、以下のシンポジウムを企画しました。皆様のご参加をお待ちしております。

◆日時：令和6年2月19日（月）14：30～17：30

◆場所：北海道立道民活動センター（かでる2・7）
かでるアスピックホール（札幌市中央区北2条西7丁目）

◆開催方法：会場とWEB配信によるハイブリット形式

◆開催内容：記念講演とフォーラムの2部構成

①北海道を「世界水準の価値創造空間」にするために

三重大学 西村訓弘 教授

②「未来に向けたMONOづくりみらい共創機構の役割とは」

パネリスト：稲川貴大氏（インターステラテクノロジズ(株)）、堀井敬太氏（伊達市長）、東博暢氏（(株)日本総合研究所）他3名

▼詳しい内容はこちら

<https://muroran-it.ac.jp/society/info/post-37855/>

▼お申込み

<https://x.gd/4xoQ7>

【5】道総研のご利用に関するアンケートのお願い

道総研では、各種技術支援制度をご利用いただいた皆様からご意見を伺い、今後の業務改善の参考とするためのアンケートを行っております。
対象となる技術支援制度は、①技術相談、②技術指導、③設備使用、④技術開発派遣指導、⑤課題対応型支援、⑥研修生の受入、⑦視察・見学です。
工業試験場でこれらの支援制度をご利用のみなさま、是非ご意見をお寄せください。
アンケートフォームからご回答くださるよう、お願いいたします。

◆アンケートフォームページ：

<https://www.hro.or.jp/hro/support/contact/questionform01.html>

=====
■□■ このメールマガジンについて ■□■
令和4年12月号から、メルマガの配信方法が変更となりました。
登録内容の変更や、アドレスを登録した覚えのない方は、お手数ですが下記URL内の「メールマガジンの変更」をクリックし、手続きを行ってください。
メールアドレスの変更、配信停止の手続きを行ったにもかかわらず、行き違いにより配信される場合がございます。ご了承ください。

▼購読申込・変更・配信停止はこちら

<http://www1.hokkaido-jin.jp/mail/magazine/>

購読申込は「新規登録」、変更・配信停止の場合は「メールマガジンの変更」を、クリックし、手続きを行ってください。
ご登録いただいた情報は、メールマガジンの配信及びイベント情報の配信を目的として利用し、それ以外の目的に使用することはありません。

◎皆さまからのご意見、ご質問、ご感想などをお待ちしております！

[編集・発行]

(地独) 北海道立総合研究機構 産業技術環境研究本部
ものづくり支援センター 技術支援部工業技術支援G
E-mail: iri-johoteikyo@ml.hro.or.jp

ホームページ:

<https://www.hro.or.jp/industrial/research/iri/index.html>

=====